

# にけーしよん



## 6/7 御荘湾の干潟を守ろう!

「御荘湾自然観察会」(町主催)に36名の親子連れが参加され、網を手に楽しそうに希少生物を探していました。講師を務めた宇和島水産高校の水野晃秀教諭、県総合保健協会の須賀秀夫さんは『御荘湾の干潟には「シオマネキ」や「ドロアワモチ」など、絶滅危惧種に指定されている海浜生物がいる。この全国的にも貴重な干潟を、後世に残すことが重要だ』と話されました。

## 6/10 きれいな商店街がいい!

町商工会の各女性部が、各地区商店街を中心に、国道や町道に捨てられた空き缶やプラスチック類のごみを回収しました。この事業は「商工会の日」(6/10)を記念して、初めて行われたもので、参加者もごみの多さに驚いたようでした。今後も、商店街を思う心で、美化活動等、美しいまちづくりに貢献してほしいと思います。



女性部城辺支所の皆さん



## 6/10 放置ゴミを再利用!

城辺保育所にて撮影

大島海産社長の大島茂一郎さんが、海岸等に漂着した真珠養殖等に使われていたゴミを加工したプランター「よみがえる君」を町に寄贈されました。寄贈された「よみがえる君」は、城辺保育所でユニークなプランターとして園児たちを楽しませています。

「よみがえる君」を製作した大島さんは『大量にある海岸漂着ゴミを再利用できないかと考え、草花を飾るプランターとして作った。この「よみがえる君」を見てもらうことで、地域の自然環境を保全する意識を高めてほしい』と話されていました。

## 5/9 伊予銀行地域文化活動の助成を受けました

御荘菊川地区、唐獅子保存会(代表、橋岡源宗さん)が「第33回伊予銀行地域文化活動助成制度」を受け、獅子頭を新調しました。今年度は、同地区を含め、県内の郷土芸能や音楽分野等の文化活動を行っている計22団体が、この助成を受けました。



# 愛南こみゆ



## 5/18 海辺を歩こう、ふれあいウォーキング!

東海地区体育協会が主催し、東海公民館から柿ノ浦港までの往復約7kmの遠足を兼ねたウォーキングを開催しました。地区住民、老若男女75名の参加者があり、初夏の息吹を感じながら、改めて身近な生活環境を見つめ直した一日となりました。

## 5/18 頑張ることは、かっこいい!

御荘文化センターで、愛媛マングリンパイレーツシニアチームアドバイザーの石毛宏典さんの講演会が行われ、少年野球の子どもたちを含む約100名が参加しました。

講演の中で石毛さんは「地域経済の活性化や夢に挑戦する若者を育てたい。そんな思いで、日本初の独立リーグ、四国アイランドリーグを設立した。私は、プロ野球選手という夢にチャレンジする若者を、地域の方々に支えていただき、そんな温かい関係を地域社会の中に築きたいと願っている。野球というスポーツを活かし、日本の地域を元気にしたい」と石毛流人生哲学や地域独立リーグ設立への思いを熱く語られました。



## 5/22・23 異国の風を感じる舞台を鑑賞!

柏小学校(家串小学校を含む、22日)・東海小学校(23日)で「劇団風の子」による「風の子バザール」が行われました。この事業は、次代を担う青少年に豊かな感性を育てほしいと「ほっと計画委員会」(内海地域のまちづくりグループ)が主催したものです。当日は、ロシアの民話「ふえふきイワヌーシカ」やミャンマー、ジャマイカの民話を表情豊かに演じる役者に、児童や保護者も大きな拍手で応え、異国の生活文化を学ぶ機会となりました。

## 5/30 美しい御荘湾を守りたい!

御荘湾片の浜周辺で、南宇和ライオンズクラブ主催の「ごみの運動」が行われ、蓮乗寺川をきれいになりたい会や愛媛大学南予水産研究センターの学生や研究員など計10団体、約70名が参加し、発泡スチロールやプラスチック類など、2トンダンプ計15台分の海岸漂着ごみを回収しました。参加者も「減らないごみの量にため息をつきながらも、やらないよりはいい」と、笑顔でごみを集めていました。

